



第2章

長期計画における 重点プロジェクト

江東区では、次に掲げる6つの事業を、長期計画において特に重点的に取り組むべき「重点プロジェクト」として位置づけ、着実な実施を図ります。

1 南部地域における総合病院の整備

- 豊洲五丁目の区有地に、学校法人昭和大学を事業者とする総合病院を整備します。
- この病院は、区内で不足している小児医療と周産期医療に重点を置いた「女性とこどもにやさしい病院」です。また、二次救急医療機関として24時間365日の対応を行うとともに、災害拠点病院として感染症疾患等に対応するなど、区が抱える医療問題の解決を目的としています。
- 地域の医療機関との連携を積極的に推進し、適切な役割分担のもと地域医療の中核となる病院を目指します。
- 病院の整備・運営は学校法人昭和大学が主体となって行います。区からは必要な支援を行います。
- 平成25年度中の開院を予定しています。

■スケジュール

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
病 院	設計・工事	工事	工事	工事・開院	



2 (仮称)シビックセンターの整備

- 区南部地域における急激な人口増に対応するため、豊洲文化センター・図書館の改築と合わせ、豊洲地区に(仮称)シビックセンターを新たに整備し、住民サービスの向上を図ります。
- (仮称)シビックセンターは、文化センター、図書館のほか、区民に身近なサービスを提供する機能を持つことを予定した複合施設です。
- 区南部地域の拠点として、多くの区民が集い、憩うにふさわしい施設を目指します。
- 平成27年4月のオープンを予定しています。

■スケジュール

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
(仮称)シビックセンター				工事	工事(※)

※27年度開設予定。



3 緑化・温暖化対策の推進

- 江東区みどり・温暖化対策基金を設置し、緑化と温暖化対策を積極的に推進します。
- 屋上緑化や生垣緑化を行う区民・事業者に対し、工事費の一部を助成するなど、区民・事業者・区が一体となって緑化を推進します。
- 小中学校の校庭及び区立公園の芝生化や、新築・改築等の区立施設における屋上緑化を推進するとともに、街路樹の本数を10年間で倍増させ、緑の中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現を目指します。
- 太陽光発電や省エネルギー設備を導入する区民に対し、設置費用の一部を助成するとともに、新築・改築等の区立施設に自然エネルギーを利用した太陽光発電システムや、雨水を有効利用するための設備を可能な限り設置し、二酸化炭素排出量の削減と地球温暖化の防止を図ります。



4 子育て・教育環境の整備

- 認可保育所・認証保育所を積極的に整備し、待機児童の解消を目指します。
- 23区初となる認定こども園と児童・高齢者総合施設との合築施設を「グランチャ東雲」として東雲一丁目に整備し、こどもと高齢者、保護者と高齢者の交流による新しい子育て支援を展開していきます。
- 急激な人口増に対応するため新たな小中学校の整備を行うとともに、既存の小中学校や幼稚園の改築・増築・大規模改修等を計画的に実施し、児童・生徒が安心して充実した学校生活を送ることができる教育環境の実現を図ります。
- 放課後子ども教室と学童クラブとの連携・一体化事業「放課後子どもプラン」(愛称:江東きっずクラブ)を全小学校で展開し、小学校のこどもたちが放課後等に安全で安心して、楽しく過ごすことができる居場所・生活の場を提供します。

スケジュール

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
認可保育所・認証保育所 (新規整備数)	10	12	10	12	8
児童・高齢者総合施設	工事	開設			
有明小学校	工事	開校			
有明中学校	工事	開校			
(仮称)豊洲西小学校		設計	工事	工事	工事(※)
放課後子どもプラン実施校	4	9	14	19	24

※(仮称)豊洲西小学校は、27年度開校予定。



5 高齢者・障害者関連施設の整備

- 高齢者が住み慣れた地域で、必要な施設サービスを受けられる環境を整備するため、区内14か所目の特別養護老人ホーム及び7か所目の介護老人保健施設の整備を推進します。
- 認知症高齢者グループホームの整備を積極的に推進し、東京都が定める整備目標をさらに上回る整備率を目指します。また、日常生活上の介護と機能訓練を行うとともに、希望に応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせるサービスを提供する小規模多機能型居宅介護施設を整備し、在宅支援サービスの拡充を図ります。
- 高齢者のいこい・健康増進施設で、こどもと高齢者などが世代を超えて交流できる総合施設を、23区で初めて認定こども園との合築により「グランチャ東雲」として東雲一丁目に整備します。
- 障害者が、日常生活支援を受けながら、地域生活へ移行することを支援するため、日中活動の場も併設した本区初の障害者多機能型入所施設の整備を推進します。

■スケジュール

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
特別養護老人ホーム (新規整備数)					1
介護老人保健施設 (新規整備数)			1		
認知症高齢者グループホーム (新規整備数)	3	4	1	1	1
小規模多機能型居宅介護施設 (新規整備数)	3	1			
児童・高齢者総合施設	工事	開設			
障害者多機能型入所施設					※

※障害者多機能型入所施設は、26年度着工、27年度竣工予定。



6 南北交通の利便性の向上

- 区の南北を結ぶ交通網の利便性を高めるために、地下鉄8号線(有楽町線)の延伸は必要不可欠です。国の運輸政策審議会答申第18号(平成12年1月)「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画」では、地下鉄8号線(豊洲-住吉)は平成27年までに整備着手することが適当な路線として位置づけられています。
- 豊洲-住吉間における地下鉄8号線の延伸によって、区部東部や千葉県西部から豊洲への移動にかかる所要時間が短縮されるとともに、地下鉄東西線などにおける混雑の緩和が期待されています。また、本区には鉄道駅から比較的離れている地域が点在していますが、これらの鉄道不便地域が一部解消されます。
- 区は、新たに基金を設置して、地下鉄8号線の延伸に要する経費に充てるための積み立てを行うとともに、国や都、鉄道事業者等と緊密に連携し、豊洲-住吉間における地下鉄8号線延伸の一日も早い実現を目指します。

